

災害復旧工事の設計要領 目 次

第I編 一般事項

第1章 総 則	3
第1節 一般事項	3
1-1 査定設計書作成上の留意事項.....	3
1-2 大規模災害における復興係数・復興歩掛について.....	8
1-3 総合単価.....	9
1-4 災害復旧工法の工夫について.....	11
第2節 工事費の構成	13
2-1 工事費の構成.....	13
第2章 工事費の積算	15
第1節 直接工事費	15
1-1 材 料 費.....	15
1-2 労 務 費.....	15
1-3 直 接 経 費.....	15
第2節 間接工事費	23
2-1 総 則.....	23
2-2 共通仮設費.....	23
2-3 工 種 区 分.....	23
2-4 算 定 方 法.....	24
2-5 共通仮設費の率分.....	29
2-6 運 搬 費.....	33
2-7 準 備 費.....	45
2-8 事業損失防止施設費.....	45
2-9 安 全 費.....	46
2-10 役 務 費.....	47
2-11 技術管理費.....	48
2-12 営 繕 費.....	49
第3節 現場管理費	52
3-1 現場管理費の項目及び内容.....	52
3-2 現場管理費の算定.....	53
3-3 現場管理費率の補正.....	53
3-4 支給品の取扱い.....	56
3-5 現場管理費の積算.....	56

3-6	「処分費等」の取扱い	57
3-7	現場管理費の計算	57
第4節	現場発生品及び支給品運搬	60
4-1	適用範囲	60
4-2	施工パッケージ	60
第3章	一般管理費等及び消費税相当額	63
第1節	一般管理費等	63
1-1	一般管理費の項目及び内容	63
1-2	付加利益	64
1-3	一般管理費等の算定	64
1-4	一般管理費等率の補正	64
第2節	消費税等相当額	66
第4章	数値基準	67
第1節	数値基準	67
第5章	建設機械運転労務等	71
第1節	建設機械運転労務	71
1-1	適用職種	71
1-2	労務歩掛	71
第2節	原動機燃料消費量	72
2-1	適用範囲	72
2-2	燃料消費量	72
第3節	機械運転単価表	79
第4節	一般事項	88
4-1	建設機械運転労務	88
4-2	指定事項における運転労務数量について	88
4-3	運転日当り運転時間 (T)	88
4-4	運転手を計上する機械	88
4-5	労務単価について	89
4-6	歩掛について	89
4-7	運転手職種別の対象機械	90
第6章	時間的制約を受ける公共土木工事の積算	95
第1節	時間的制約を受ける公共土木工事の積算について	95
第7章	災害査定設計書記載例	99
第1節	積上げ積算による査定設計書記載例(河川災害復旧工事)	99

第Ⅱ編 共 通 工

第1章 土 工	107
第1節 土量変化率等.....	107
第2節 土 工.....	112
2-1 土 工.....	112
2-2 土工(ICT).....	144
第3節 作業土工.....	154
3-1 床掘工.....	154
3-2 床掘工(ICT).....	162
3-3 埋戻工.....	165
第4節 人力運搬工.....	171
第5節 安定処理工.....	175
5-1 安定処理工.....	175
5-2 安定処理工(自走式土質改良工).....	178
第6節 土砂運搬工(不整地運搬車による運搬).....	182
第2章 共 通 工	185
第1節 法 面 工.....	185
1-1 法面整形工.....	185
1-2 法面整形工(ICT).....	194
1-3 芝付工.....	197
1-4 コンクリート法枠工.....	199
1-5 法面施肥工.....	210
1-6 吹付法面とりこわし工.....	211
1-7 プレキャストコンクリート板設置工.....	214
1-8 人工張芝工.....	218
第2節 基礎・裏込砕石工.....	221
第3節 コンクリートブロック積(張)工.....	225
第4節 石積(張)工.....	251
4-1 石積(張)工.....	252
4-2 平石張工.....	262
第5節 場所打擁壁工.....	266
5-1 場所打擁壁工(1).....	266
5-2 場所打擁壁工(2).....	281
第6節 プレキャスト擁壁工.....	285
第7節 補強土壁工(帯鋼補強土壁, アンカー補強土壁, ジオテキスタイル補強土壁).....	289
第8節 補強盛土工.....	299

第9節	排水構造物工	306
9-1	排水構造物工	306
第10節	軟弱地盤処理工	338
10-1	サンドマット工	338
10-2	粉体噴射攪拌工(DJM工法)	340
10-3	スラリー攪拌工	346
10-4	高圧噴射攪拌工	354
10-5	PVD工(プレファブリケイティッドバーチカルドレーン工)	371
10-6	中層混合処理工	374
第11節	アンカー工(ロータリーパーカッション式)	378
第12節	構造物とりこわし工	391
第13節	コンクリート削孔工	394
第14節	ガス切断工	401
14-1	ガス切断工	401
第15節	吸出し防止材設置工	403
第16節	目地・止水板設置工	405
第17節	旧橋撤去工	410
第18節	かご工	426
第19節	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工	433
第20節	現場取卸費	445
第21節	骨材再生工(自走式)	450
第22節	函渠工	454
22-1	函渠工(1)	454
22-2	函渠工(2)	461
第23節	殻運搬	464
第3章	基礎工	471
第1節	鋼管・既製コンクリート杭打工(パイルハンマ工)	471
第2節	鋼管・既製コンクリート杭打工(中掘工)	478
第3節	杭頭処理工	486
第4節	場所打杭工(全回転式オールケーシング工)	487
第5節	場所打杭工(リバーサーキュレーション工)	494
第6節	場所打杭工(アースオーガ工, 硬質地盤用アースオーガ工)	501
第7節	場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)	507
第8節	場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)	517
第4章	コンクリート工	537
第1節	コンクリート工	537
第2節	型枠工	550

第3節	張りコンクリート工	555
第5章	仮設工	565
第1節	鋼矢板(H形鋼)工(バイプロハンマ工)	565
第2節	油圧圧入引抜工	589
第3節	矢板工(アースオーガ併用圧入工)	604
第4節	鋼矢板(H形鋼)工(クレーン引抜工)	608
第5節	鋼矢板施工法選定(参考)	611
第6節	仮設材設置撤去工	615
第7節	足場支保工	624
7-1	足場工	624
7-2	支保工	627
第8節	締切排水工	630
第9節	土のう工	635
9-1	土のう工	635
9-2	大型土のう工	636
第10節	仮橋・仮栈橋工	642
第11節	仮囲い設置・撤去工	655
11-1	仮囲い設置・撤去工	655
第12節	仮設防護柵工(切土及び発破防護柵工)	657
第13節	敷鉄板設置・撤去工	661
第14節	法面工(仮設用モルタル吹付工)	664

第Ⅲ編 河 川

第1章	河川海岸	671
第1節	消波根固めブロック工	671
第2節	消波根固めブロック工(ブロック撤去工)	702
第3節	捨石工	706
第4節	消波工	709
第2章	河川維持工	725
第1節	多自然型護岸工	725
1-1	巨石積(張)工	725
第2節	木杭打工	733
第3節	巨石据付工	735
第4節	護岸基礎ブロック工	737
第5節	かごマット工	745
5-1	かごマット工(スロープ型)	745

5-2	かごマット工(多段積型).....	747
第6節	ブロックマット工.....	751
第7節	野芝種子吹付工.....	755
第8節	袋詰玉石工.....	759
第9節	笠コンクリートブロック据付工.....	762
第10節	連節ブロックの水中吊落し工.....	766
第3章	砂 防 工	769
第1節	土 工.....	769
〔1〕	土 工.....	769
〔2〕	土工(ICT).....	780
第2節	コンクリート工.....	786
〔1〕	コンクリート工.....	786
〔2〕	コンクリート工(ケーブルクレーン打設).....	795
第3節	仮設備工.....	803
第4章	地すべり防止工	811
第1節	集水井工(ライナープレート土留工法) <small>しゅうすいせい</small>	811
第2節	地すべり防止工(集排水ボーリング工).....	819
第3節	地すべり防止工(山腹水路工).....	827
第4節	地すべり防止工(ふとんかご).....	840
第5節	地すべり防止工(じゃかご).....	843
第6節	集排水ボーリング孔洗浄工.....	846

第IV編 道 路

第1章	舗 装 工	851
第1節	路 盤 工.....	851
1-1	路 盤 工.....	851
1-2	路盤工(ICT).....	861
第2節	アスファルト舗装工.....	868
第3節	コンクリート舗装工.....	880
第2章	付 属 施 設	887
第1節	防護柵設置工.....	887
1-1	ガードケーブル設置工.....	887
第2節	落石防止網(繊維網)設置工.....	892
第3節	立入り防止柵工.....	893
〔1〕	立入り防止柵工.....	893

〔2〕箱抜き工	900
第3章 道路維持修繕工	903
第1節 路面切削工	903
第2節 舗装版破碎工	909
第3節 舗装版切断工	914
第4章 共同溝工	919
第1節 電線共同溝工(C・C・BOX)	919

第V編 建設機械経費

第1章 機械経費	939
第1節 請負工事機械経費積算要領	939
第2節 建設機械損料表の見方について	945
第3節 建設機械等損料算定表	949

第VI編 参考資料

第1章 歩掛(参考)	1041
第1節 アンカー式空石積工	1041
第2節 連続繊維補強土工	1046
第3節 落石防護柵設置工(人力施工)	1052
第2章 設計資料	1055
第1節 基礎資料	1055
1-1 流速計算表	1055
1-2 丸太材積(立方メートル)	1057
1-3 鋼材諸元	1059
1-4 河川港基準面一覧表	1062
第2節 設計資料	1063
2-1 のり面保護工選定資料	1063
2-2 ブロック積	1067
2-3 擁壁設計資料	1075
2-4 地すべりの安定解析と安全率	1084
2-5 地すべり防止工法例	1098
2-6 アンカー工の設計・施工	1105
2-7 護岸用鋼矢板選定についての留意点(参考)	1108
2-8 鋼矢板護岸(査定参考)	1108

2-9	一般鉄筋コンクリート設計資料	1143
2-10	コンクリートの養生について	1146
2-11	仮締切堤設置基準(案)	1147
2-12	鋼矢板二重式仮締切工法	1151
2-13	砂防堰堤設計資料	1151
2-14	橋梁計画に関する資料	1154
2-15	海岸の根固工, 消波工の設計	1159
第3章 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の概要について ……………1161		
第1節 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の概要について……………1161		
1-1	これまでの改定経緯	1161
1-2	平成30年の改定について	1162
1-3	ガイドラインの位置付け	1163
1-4	災害復旧の基本的な考え方	1163
1-5	原形復旧のポイントについて	1166
1-6	改良復旧のポイントについて	1171
1-7	多自然川づくりアドバイザー制度等	1178
1-8	参 考	1179
第2節 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」ガイドラインの改定について……………1181		
〔参考資料〕 激甚な災害後の大規模な河川整備における一層の河川環境の保全を目指して -「多自然型川づくり」アドバイザー制度の創設-……………1204		
第3節 環境に配慮した海岸の災害復旧……………1207		
第4節 改良復旧事業の取扱いと事業計画策定について……………1210		
第5節 改良復旧事業の事例……………1223		
第4章 災害復旧工法について ……………1235		
第1節 河川護岸工法検討例……………1235		
第2節 復旧工法の事例……………1237		
第3節 多様な護岸工法の試み事例……………1252		
第4節 そ の 他……………1264		
主要技術基準及び参考図書……………1271		